

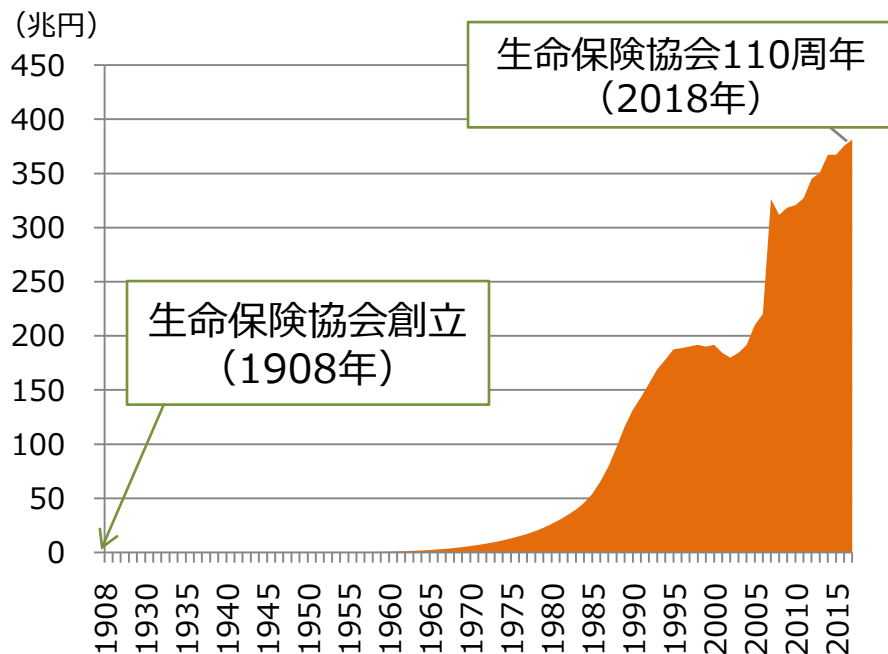
持続可能な社会の実現に向けた 生命保険業界の取組

2019年2月28日

生保は「直接金融」における最大の機関投資家

- 生命保険協会は国内の生保41社が加盟、計374兆円の資産を持つ機関投資家
(全国の保険契約者からの保険料を預かり、幅広い資産に投資する「ユニバーサル・オーナー」)

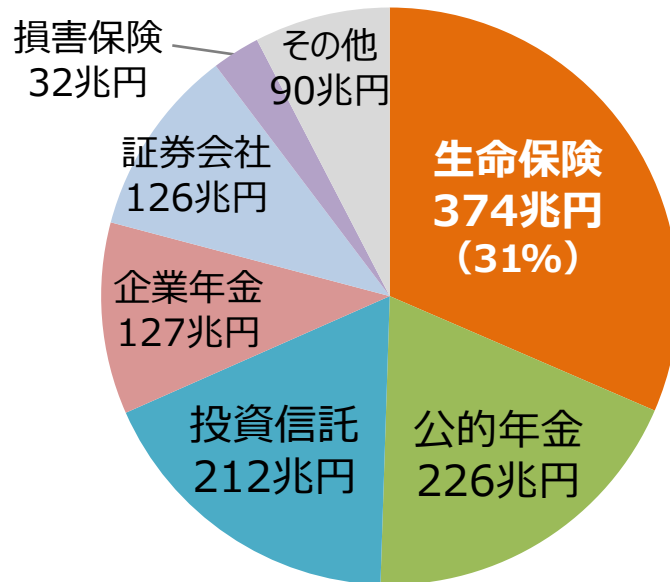
生保総資産の推移



(出所) 生命保険協会統計資料

「直接金融※」の内訳

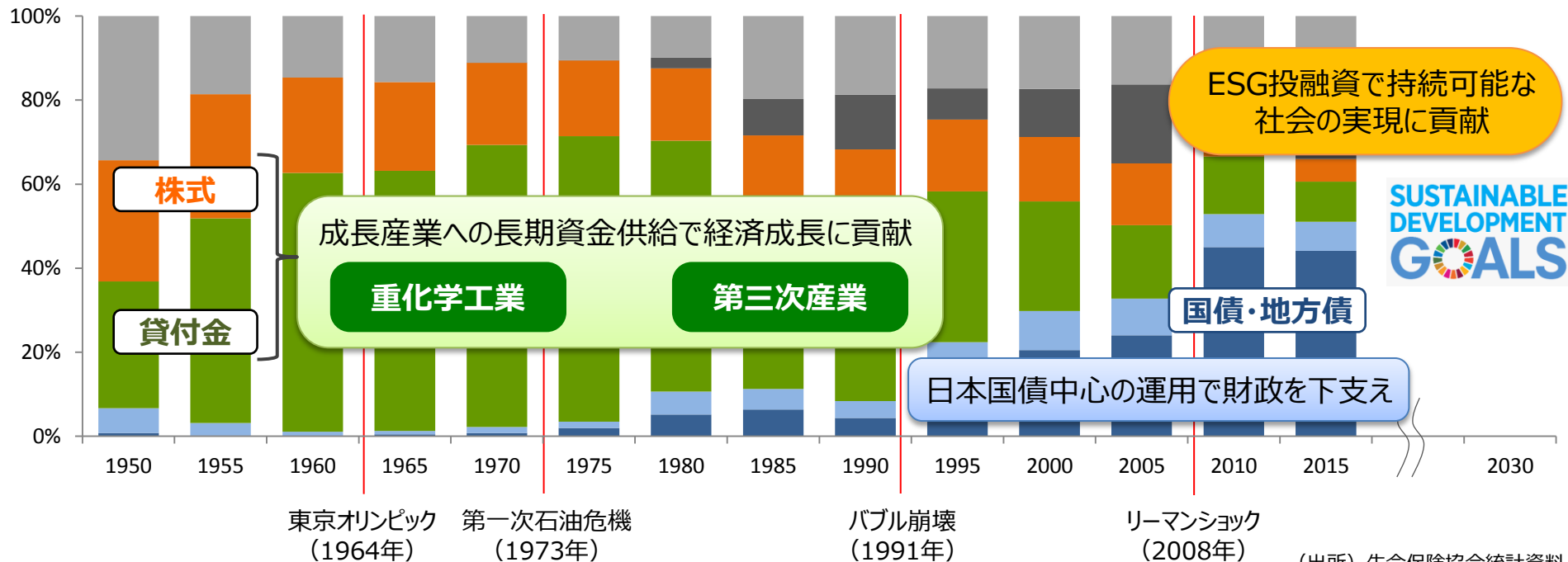
※ 本会合の区分に沿って、保険・年金基金、公的年金、証券会社を集計



(出所) 日本銀行「資金循環統計」

- 生命保険会社は、長期資金の供給を通じて社会の大きな構造転換を支え、日本経済の成長に貢献。
- 近年、持続可能な社会の実現に向けて、ESG投融資やスチュワードシップ活動の取組を推進。

<生保資産の構成>



生命保険協会はSDGs達成に向けた8つの取組を展開

- 生命保険業界の取組をSDGsの観点から整理し、2018年度に8つの「重点取組項目」を選定

生命保険業界を取り巻く環境変化

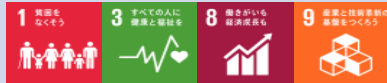
人生100年時代

少子高齢化

機関投資家としての
社会的役割の増大

生命保険業界におけるSDGs達成に向けた重点取組項目

1. 持続可能な
社会保障制度の構築



5. ESG投融資の推進



2. 金融リテラシー教育の推進



6. マネロン・テロ資金供与、
反社会的勢力への対応



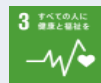
3. 消費者目線に立った経営の推進



7. 女性活躍推進



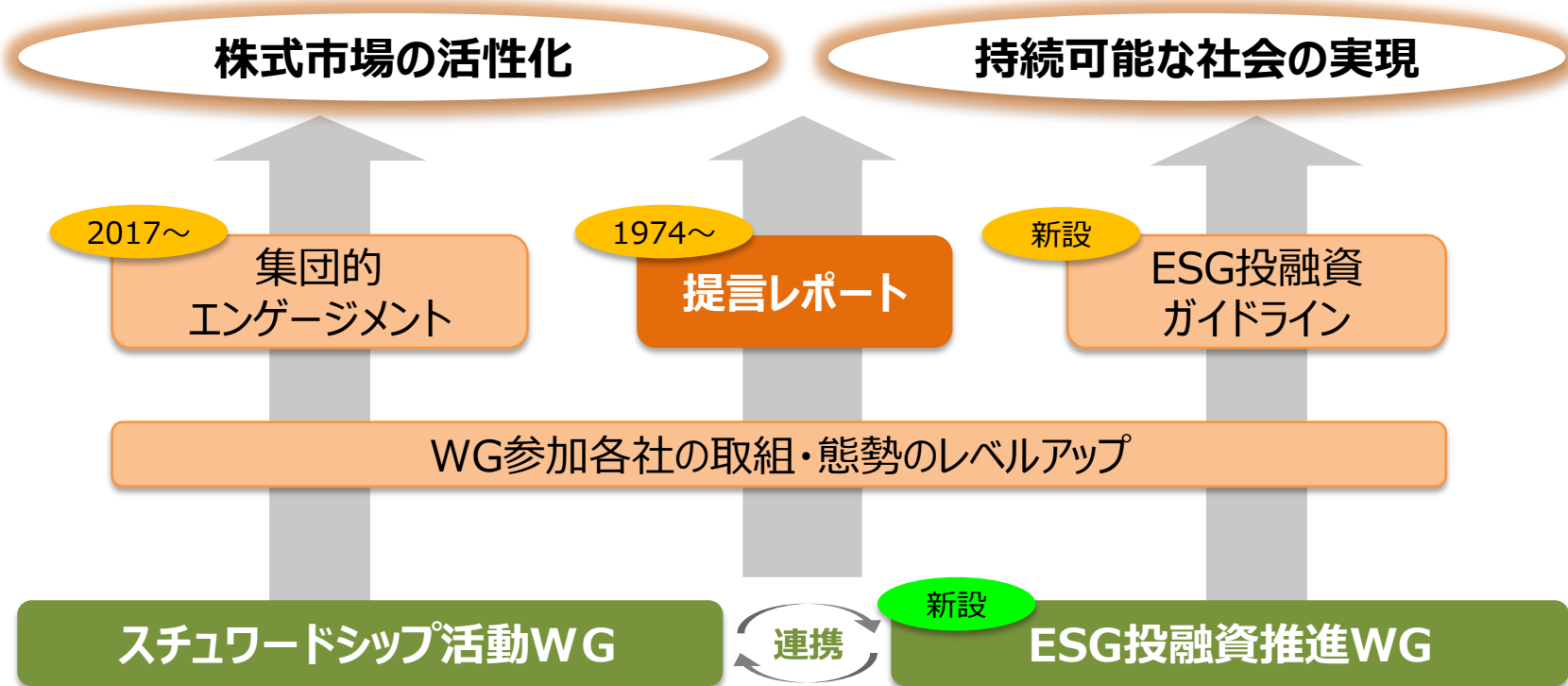
4. 健康寿命延伸に向けた取組み



8. 人権に関する対応



- 2018年度はESG投融資推進WGを新設し、ガイドライン策定や提言レポート作成等の取組を展開



- 2018年度は、これまで提言してきた「株主還元の充実」、「コーポレートガバナンスの向上」、「対話の高度化」に加え、「ESG取組の促進」を新たなテーマとして追加

<2018年度の提言テーマ（案）>

※2019年4月公表予定

株主還元の充実

コーポレートガバナンスの向上

対話の高度化



追加

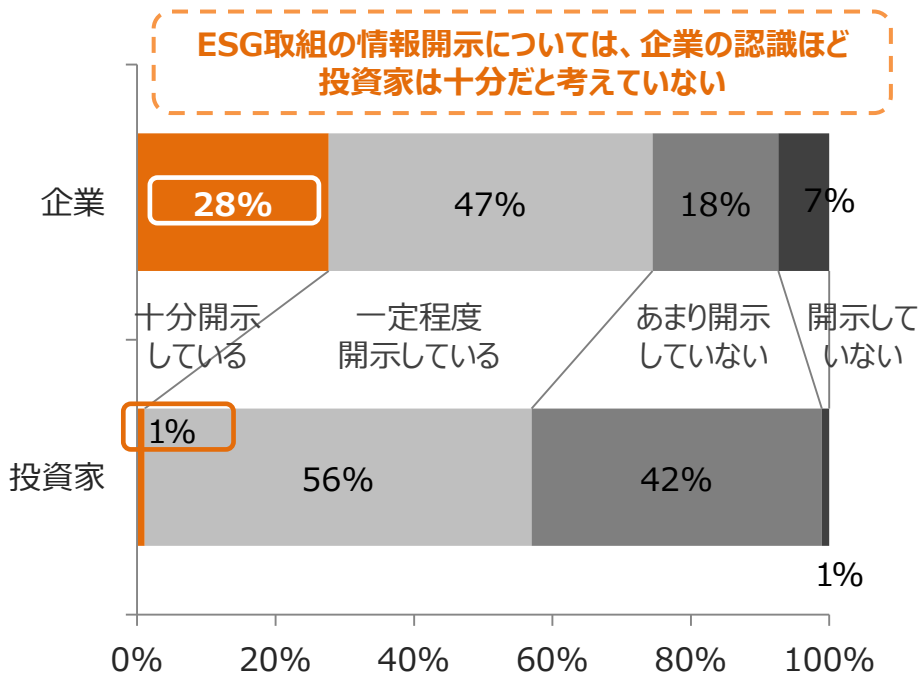
ESG取組の促進

※ 上場企業および投資家向けのアンケート調査をもとに提言作成
【回答率】上場企業 47%（568社／1,200社）、投資家 51%（121社／236社）

「ESG取組の促進」に向けた提言（案）①（企業向け）

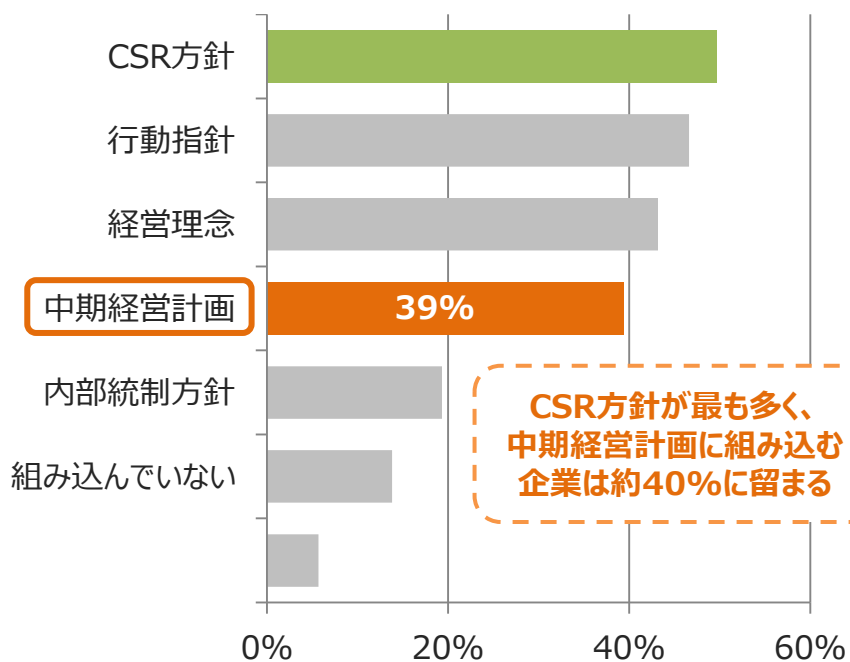
【企業・投資家向けアンケート】

Q：企業のESG取組の情報開示は十分か



【企業向けアンケート】

Q：ESG取組をどの経営方針に組み込んでいるか



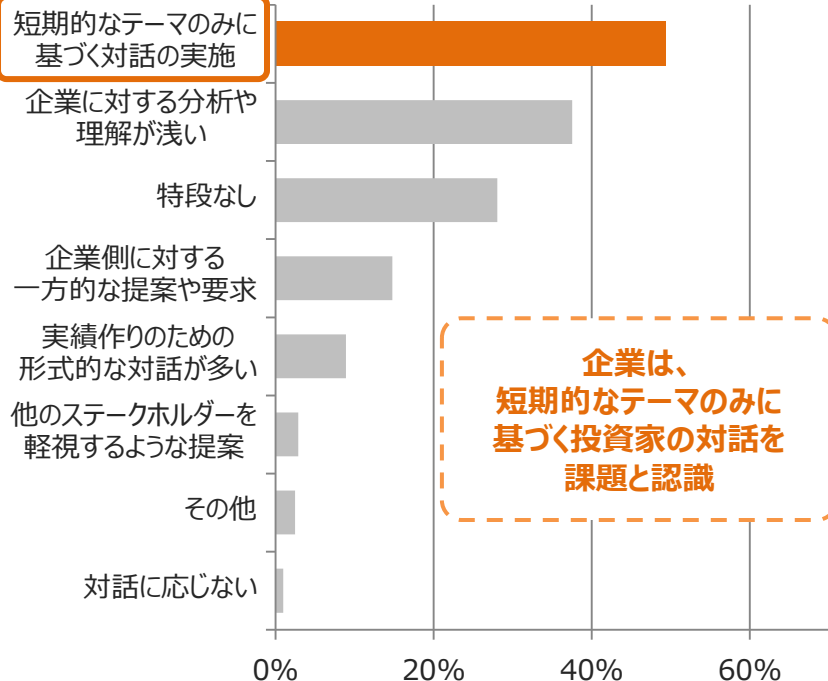
企業向け

ESG取組を企業価値向上と結びつけ、投資家への説明を充実

「ESG取組の促進」に向けた提言（案）②（投資家向け）

【企業向けアンケート】

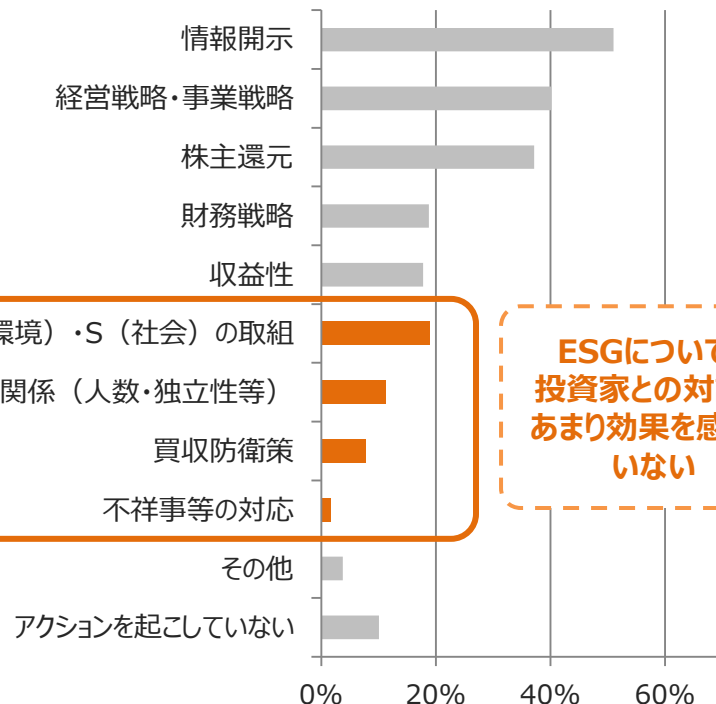
Q：投資家の対話活動の課題は



企業は、
短期的なテーマのみに
基づく投資家の対話を
課題と認識

【企業向けアンケート】

Q：投資家との対話を踏まえて改善につながった点は



ESGについて、
投資家との対話に
あまり効果を感じて
いない

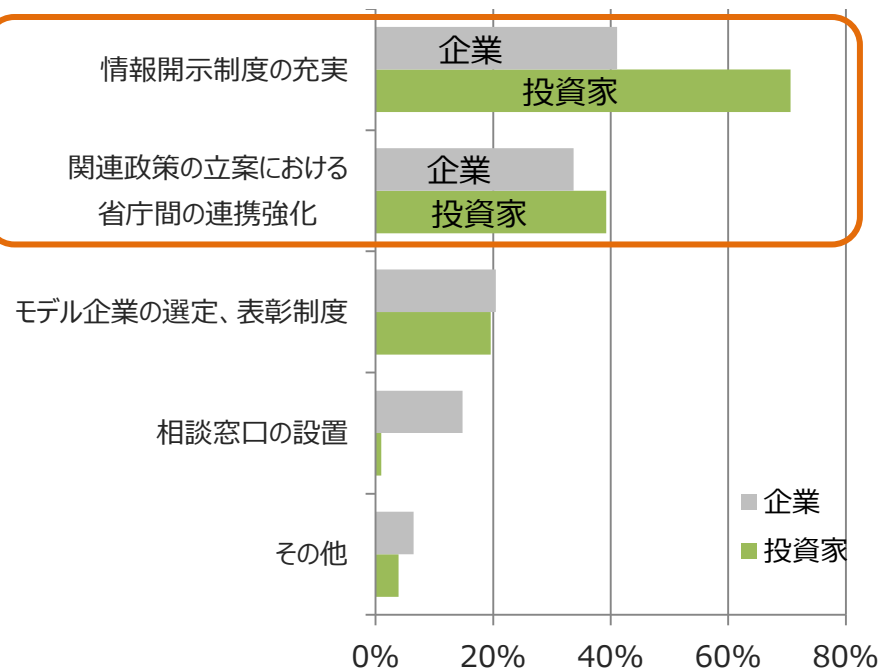
投資家向け

短期的なテーマだけでなく、ESG課題解決に向けた中長期視点での対話の推進

「ESG取組の促進」に向けた提言（案）③（政府向け）

【企業・投資家向けアンケート】

Q：ESG推進のために政府に期待すること



ESG取組促進に向けた政府の会議体・ガイドライン

所管省庁	ESG取組促進に向けた会議体
環境省	ESG金融懇談会
	ESG金融ハイレベル・パネル
金融庁	スチュワードシップ・コード及びコーポレートガバナンス・コードのフォローアップ会議
経産省	統合報告・ESG対話フォーラム
	SDGs経営／ESG投資研究会
	TCFD研究会
所管省庁	ESG取組促進に向けたガイドライン
金融庁	投資家と企業の対話ガイドライン
経産省	価値協創ガイダンス
	TCFDガイダンス

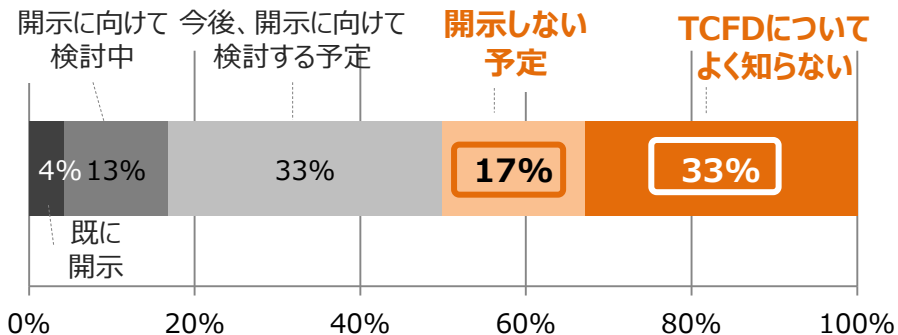
政府向け

企業のESG取組とESG投融資の更なる促進に向けた、省庁横断的な政策の打ち出し

「ESG取組の促進」に向けた提言（案）④（政府向け）

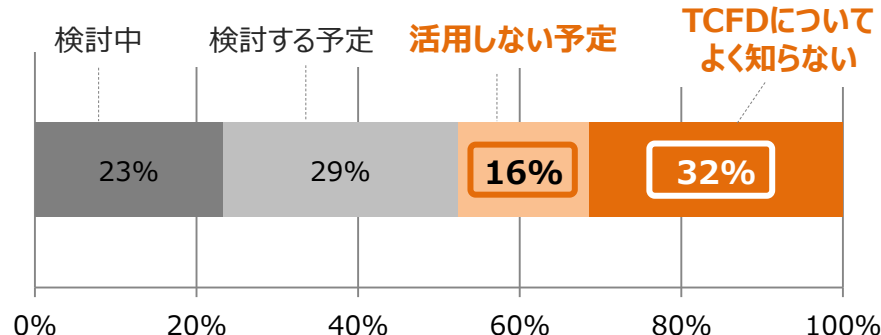
【企業向けアンケート】

Q：TCFDに基づく気候変動情報開示の検討状況は



【投資家向けアンケート】

Q：TCFDに基づく気候変動情報の活用の検討状況は



企業・投資家ともに、TCFDの認知度は高くない

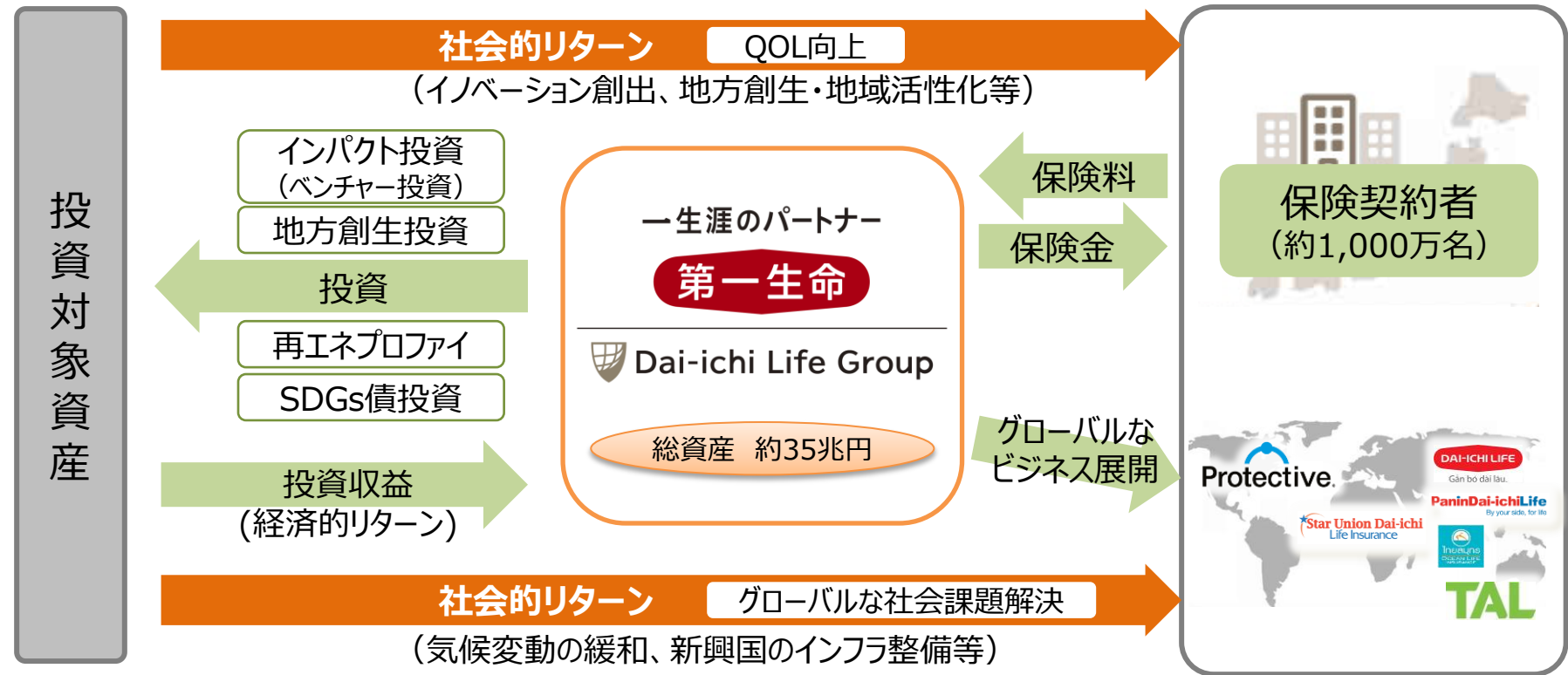
政府向け

気候変動関連の情報開示の理解促進に向けた、ベストプラクティスの共有等の政策的後押し

(参考) 第一生命のESG投資

第一生命のESG投資の基本スタンス

- ESG投資を推進することで、イノベーション創出・地方創生等を後押しし、日本国民のQOL向上に貢献するとともに、グローバルな社会課題の解決（気候変動の緩和、インフラ整備等）にも貢献



第一生命のESG投資のこれまでの取組

- 2010年以降、ESG投資を推進してきており、PRI署名以降は態勢を強化し、取組の幅の拡大
→ 2017年度末には、21世紀金融行動原則のベストプラクティス（環境大臣賞）を受賞

	2010年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
投資態勢				PRI署名	ESG投資方針の策定	責任投資委員会	
ESG テーマ型 投資		再生可能エネルギー発電所関連投融資	国際開発金融機関発行のSDGs債への投資			インパクト投資	地方創生
ESG インテグ レーション	国内株でESGインハウス運用（2010年～）					リサーチへのESG組込	ネガティブスクリーニング
						ESG対話	

環境大臣賞

TCFD賛同

再生可能エネルギー事業への投資

国内の再生可能エネルギー発電事業への投資

- 国内の太陽光・風力・バイオマス発電事業に対し、2013年度より継続的に投資

累計投資額：約1,000億円



海外の再生可能エネルギー発電事業への投資

- 欧米での太陽光・風力発電事業に対しても、2015年度より継続的に投資



国際開発金融機関等が発行するSDGs債への投資

欧州

1 貧困をなくそう
マイクロファイナンス・ボンド（欧州復興開発銀行）

- 途上国の中小・零細企業への事業資金支援

3 すべての人に健康と福祉を
ヘルスボンド（欧州復興開発銀行）

- 中東欧等の医療サービス向上支援

世銀グループ

1 貧困をなくそう
インクルーシブ・ビジネス・ボンド（国際金融公社）

- 低所得者層のビジネス参画への支援

累計投資額：1,000億円超

アジア・太平洋

3 すべての人に健康と福祉を
ヘルスボンド（アジア開発銀行）

- アジア太平洋地域の保健衛生支援

5 ジェンダー平等を
実現しよう
ジェンダーボンド（アジア開発銀行）

- アジア・太平洋地域の女性活躍支援

日本

13 気候変動に具体的な対策を
東京グリーンボンド（東京都）

- 東京都のスマートシティ化の支援

アフリカ

2 飢餓をゼロに
フィード・アフリカ・ボンド（アフリカ開発銀行）

- アフリカの農業・農業ビジネス支援

9 産業と技術革新の基盤をつくろう
ライト・アップ・アンド・パワー・アフリカ・ボンド（アフリカ開発銀行）

- アフリカの電力・エネルギーインフラ整備の支援

ラテンアメリカ、カリブ海諸国

4 質の高い教育をみんなに
EYEボンド（米州開発銀行）

- 教育、若年層支援、雇用支援

インパクト投資（社会課題解決に向けたイノベーション投資）の推進

- 運用収益の獲得と社会的インパクトの創出（社会の構造変化等）の両立を目指すインパクト投資を通じて、イノベーション創出に向けたリスクマネー供給を積極的に推進

投資先	投資時期	事業概要	
Gojo & Company, Inc.	2017/10 2019/2	発展途上国におけるマイクロファイナンス事業	1 環境・社会 人々の生活
 Spiber	2017/10	人工のクモ糸繊維等の新世代バイオ素材の開発	13 環境・社会 持続可能な未来
 CureApp	2018/2	ニコチン依存症等の疾患向け「治療アプリ®」の研究・開発	3 環境・社会 健康と福祉
 CROWD CREDIT	2018/4	「融資型クラウドファンディング」サービス提供	1 環境・社会 人々の生活
 SUSMED Sustainable Medicine	2018/5	不眠症治療用アプリの研究・開発	3 環境・社会 健康と福祉
 MELTIN	2018/10	「人の手に最も近い」アバターロボット等の研究・開発	8 環境・社会 持続可能な未来
 MOLCURE	2018/11	A Iを活用した抗体/ペプチド医薬品開発プラットフォームの開発・提供	3 環境・社会 健康と福祉
 QD LASER	2018/12	最先端レーザ技術を活用した低視力患者向けアイウェア等の開発・提供	3 環境・社会 健康と福祉
 Challenergy Innovation For Energy Shift	2019/3	強風下でも発電可能な風力発電機の開発	7 環境・社会 持続可能な未来

インパクト投資の事例

五常アンドカンパニー

- 途上国でマイクロファイナンス事業を展開
- 10億円投資
(2017/10、2019/2)

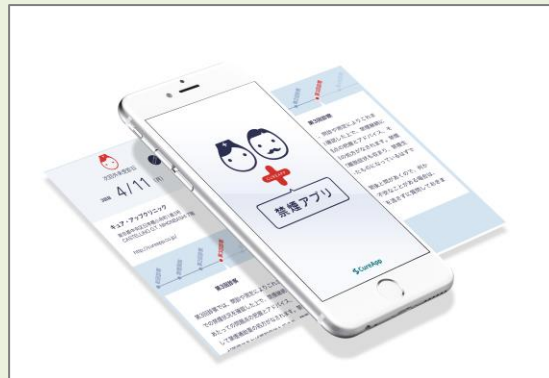
＜社会的インパクト＞
途上国の金融アクセス向上



CureApp

- ニコチン依存症等向けの「治療アプリ®」の開発
- 2億円投資 (2018/2)
※追加投資を検討中

＜社会的インパクト＞
治療効率化による医療費削減



チャレナジー

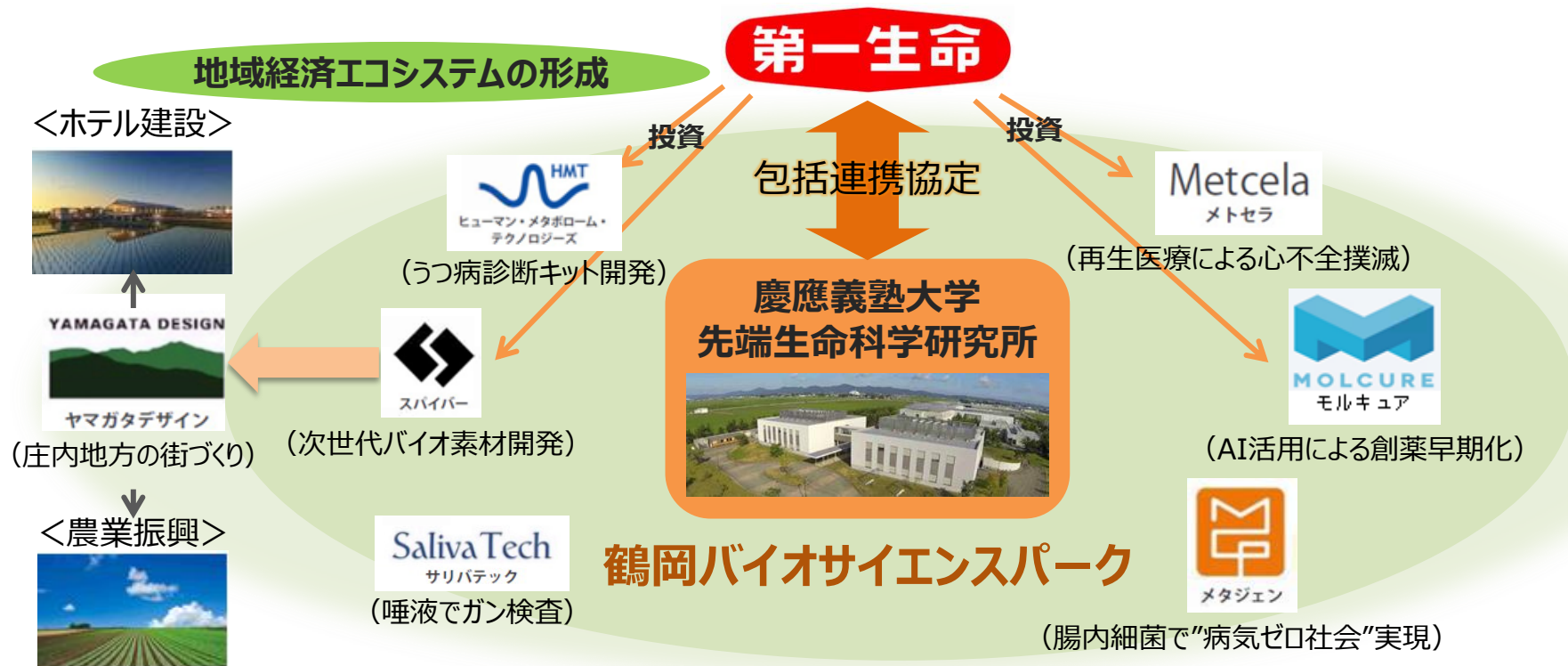
- 台風でも発電可能な風力発電機の開発
- 新規投資予定 (2019/3)

＜社会的インパクト＞
CO₂排出量の削減



地方創生・地域活性化への取組（慶応・先端研との包括連携協定）

- 先端生命科学研究所（@山形県鶴岡市）発のベンチャー企業が、地域経済を巻き込んだエコシステムを形成
→ 第一生命は、実証実験やベンチャー投資を通じて、先端研開発イノベーションの社会実装を後押し



2019年度のESG投資の取組方針

重点取組テーマ

インパクト投資

- ◆ 社会課題解決に資するイノベーションへの資金供給

地方創生・地域活性化

- ◆ 地域活性化に繋がる投融資を通じたQOL向上
- ◆ 産学連携によるイノベーション・事業創出

取組強化

気候変動

投資プロセスへの気候変動情報の組込

- ◆ 気候変動のリスク・機会を加味した企業評価（株式・クレジット）
- ◆ 投資先企業との対話により、TCFD提言に基づく開示の働きかけ

再エネ事業向けのテーマ型投融資の推進

「ユニバーサルオーナー」として、ESG投資を通じて、日本およびグローバルの社会課題の解決に貢献